

「女性と経営」文献シリーズ

(その10)

I. 女性と男女雇用機会均等法・育児休業法・・・	(2)
II. 女性と労務管理・・・・・・・・・・・・・・・・	(4)
III. 女性と管理職・キャリア・・・・・・・・・・	(10)
IV. その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(14)

この資料は、国立国会図書館発行の「NDL CD-ROM Line 雑誌記事索引カレント版」及び、日本図書館協会・日本出版販売（株）発行の「N-BISC」を使用し、本学図書館にて作成しました。

I. 女性と男女雇用機会均等法・育児休業法

〔図 書〕

- [873]労働省女性局編、『(詳説)男女雇用機会均等法』労務行政研究所、2000.3
[874]労働省女性局監修、『男女雇用機会均等法 労働基準法(女性関係等) 育児・介護休業法 パートタイム労働法解説便覧』21世紀職業財団、2000.11
[875]労働調査会編、『(Q&A)育児・介護休業制度の急所』労働調査会、2000.10
[876]労働法令研究会編、『育児・介護休業法便覧 改訂』労働法令協会、2000.12

〔逐次刊行物〕

- [877]大森夏織、「検討 改正均等法における調停制度の問題点--日本航空女性客室乗務員昇格差別問題を契機に」労働法律旬報(労働旬報社 〔編〕)1484, 18~21頁 (2000.7.25)
[878]荻原勝、「労基法・均等法・介護休業法の改正に合わせて「就業規則&社内規程」見直し・作成の実務とモデル例(5)セーフ防止の規程を就業規則に盛り込む」企業実務(日本実業出版社)39(1), 62~65頁 (2000.1)
[879]中島万幸、「平成10年度における地方公務員の育児休業等の取得状況について」地方公務員月報(自治省行政局公務員課)441, 30~37頁 (2000.4)
[880]中野麻美、「均等法後の女性労働--女性の雇用と労働条件の破壊が進む(特集 男女平等をめぐる動き--日本とフランス)」労働運動研究(労働運動研究所)365, 2~5頁 (2000.3)
[881]浜口桂一郎、「EUにおける男女均等法制と女性政策(2)」Women & work(女性労働協会 〔編〕)133, 36~39頁 (2000.9)
[882]浜口桂一郎、「EUにおける男女均等法制と女性政策(3)女性と男性の家庭生活と職業生活へのフランスのとれた参加」Women & work(女性労働協会 〔編〕)134, 40~43頁 (2000.12)
[883]吉宮聡悟、「改正均等法後の変化と連合の取り組み--連合 総合男女平等局総局長 吉宮聡悟さんに聞く(特集 女性をとりまく職場環境を考える)」いのちと健康(労働教育センター 〔編〕)406・407, 2~7頁 (2000.8)
[884]吉宮聡悟、「改正均等法への労働組合の対応と課題--連合の改正均等法施行に関する調査から(特集 女性労働の職域拡大における課題)」労働調査(労働調査協議会)379, 4~7頁 (2000.9)
[885]連合総合男女平等局、「連合総合男女平等局 子ども看護休暇に関する調査結果(2000年4月20日)(特集 労働組合の女性参加の現状と未来)」労働経済旬報(労働経済社 〔編〕)54(1653), 11~14頁 (2000.5.5)
[886]労働省、「女性雇用管理基本調査 女性の育児休業取得者は56.4%--育児休業制度の規定がある事業所は五三・五%、介護休業制度は四〇・二%」労働法令通信(労働法令協会 〔編〕)53(23), 24~28頁 (2000.8.18)
[887]労働省、「女性の育児休業取得者は半数を超え、100人以上事業所では7割以上に--平成11年度女

- 性雇用管理基本調査」結果概要」経営労務(日本経営教育センター編)547, 18~24頁(2000.12)
- [888]労働省。「労働省 男女雇用機会均等対策基本方針(案)(特集 労働組合の女性参加の現状と未来)」労働経済旬報(労働経済社編)54(1653), 15~29頁(2000.5.5)
- [889]労働省研究会。「男女均等政策 均等処遇で女性の能力を開発—国の対策方針策定のために検討結果を報告、コース別管理に指針を」賃金・労務通信(労働法令協会編)53(7), 26~29頁(2000.3.15)
- [890]労働省女性局。「<情報コーナー>平成11年度女性雇用管理基本調査」結果概要—女性の育児休業取得者は半数を超え、100人以上事業所では7割以上に」旬刊労働実務(政経研究所)1310, 6~17頁(2000.9.11)
- [891]労働省女性局。「平成11年度女性雇用管理基本調査(概要)—女性の育児休業取得者は半数を超え、100人以上事業所では7割以上に」労務Japan(ワークジェイ)279, 6~8頁(2000.11.1)
- [892]労働省女性局女性福祉課。「育児・介護休業制度について(特集 女性少年室の仕事)」職業安定広報(労働省職業安定局編)51(4), 12~14頁(2000.2.21)
- [893]労働省女性局女性福祉課。「女性の育児休業取得者は半数を超え、100人以上事業所では7割以上に—「平成11年度女性雇用管理基本調査」結果概要(特集号:仕事と家庭の両立を考える)」Essor(21世紀職業財団編)83, 16~19頁(2000.10)
- [894]和田肇。「ウォッチング 労働法—変化と展望(4)男女雇用平等のこれまで—労基法・雇用機会均等法の制定と改正の流れ」月刊法学教室(有斐閣)232, 108~111頁(2000.1)
- [895]「一層の充実が望まれる育児休業制度」スミセイコミカルビュー(住友生命総合研究所調査部編)10(5), 10~12頁(2000.9)
- [896]「(女性少年問題審議会)男女雇用機会均等対策基本方針策定に向け審議」労働法令通信(労働法令協会編)53(6), 30~33頁(2000.3.8)
- [897]「女性と仕事、その未来をみつめて(6)社員の採用難を解消するため育児・介護休職制度を取り入れる—(株)さいか屋」財形福祉(財形福祉協会)26(11), 26~28頁(2000.11)
- [898]「女性労働協会「育児・介護と生活・就業実態調査」—代替要員の確保と復帰後の扱いが課題(巻頭資料 育児・介護休業の現状を考える—休業給付は来年1月から引き上げへ)」労経ファイル(日本労政調査会編)300, 20~27頁(2000.10.15)
- [899]「資料 参考様式(労働省)「育児休業申出書」「育児休業取扱通知書」等(特集 育児・介護への柔軟な対応—育児・介護への企業の新たな視点と働き方を追う)」労務事情(産労総合研究所編)966, 27~29頁(2000.6.15)
- [900]「特集資料 女少審に諮問「対策基本方針(案)」—実情に応じた行政指導と助言・支援へ(特集企画 男女均等方針と実態—環境整備へ企業の課題山積)」労経ファイル(日本労政調査会編)294, 6~13頁(2000.7.1)
- [901]「特集 2000年4月現在本社調べ 育児休業・支援制度の水準」旬刊福利厚生(労務研究所)1695, 5~38頁(2000.5.8)
- [902]「ファミリー・フレンドリー企業の取り組み(1)育児休業は2年、介護休業は1年まで取得可能—(株)さいか屋の育児・介護休業制度」労働基準広報(労働調査会編)1326, 18~19頁(2000.4.21)
- [903]「「ファミリー・フレンドリー企業の取り組み(2)育児休業の取得者多く大多数が原職へ復帰—サテン(株)の

- 育児・介護休業制度」労働基準広報(労働調査会 〔編〕)1329, 18～19頁 (2000.5.21)
- [904]「福利厚生 育児休業制度の最新実態--賃金・賞与の取り扱いから短時間勤務制度, 育児時間まで」労政時報(労務行政研究所)3439, 2～20頁 (2000.4.7)
- [905]「別表 事例別にみた育児休業・支援制度(特集 2000年4月現在本社調べ 育児休業・支援制度の水準)」旬刊福利厚生(労務研究所)1695, 12～38頁 (2000.5.8)
- [906]「労働省「平成11年度女性雇用管理基本調査」--女性労働者の56%で育休取得(巻頭資料 育児・介護休業の現状を考える--休業給付は来年1月から引き上げへ)」労経ファイル(日本労政調査会 〔編〕)300, 4～19頁 (2000.10.15)
- [907]「労働施策 男女雇用機会均等対策基本方針(下)女性労働者の職業生活に視点おく」法令ニュース(税務経済社 〔編〕)35(10), 46～53頁 (2000.10)
- [908]「労働法Q&A 育児休業を取得できる者の範囲について」農協労研研究情報(農協労働問題研究所 〔編〕)38(7), 98～105頁 (2000.10)

II. 女性と労務管理

〔図 書〕

- [572]アリアン・ラインハルト著. IL0東京支局監訳. 『セクシュアル・ハラスメント : セクハラ防止の具体的な手順と対策 欧米企業の実践実例: IL0調査』日科技連出版社. 2000.9
- [573]勝田一男著. 『セクハラ完全対策 : わかる・できる! 労務管理の決定版』中央経済社. 2000.5
- [574]金子雅臣著. 『管理職のためのセクハラ講座 : あなたの理解で大丈夫ですか?』ぎょうせい. 2000.6
- [575]今野久子著. 『こんなときどうする? パートの権利Q&A』学習の友社. 2000.7
- [576]東京女性財団編. 『セクシュアル・ハラスメントのない世界へ : 理解・対策・解決』東京女性財団. 2000.5
- [577]日本人事行政研究所編. 『職員からの相談実務のてびき : 職員相談員・セクハラ相談員必携』日本人事行政研究所. 2000.02
- [578]日本労働研究機構研究所編. 『高学歴女性の労働力率の規定要因に関する研究』日本労働研究機構. 2000.8
- [579]明治学院大学法学部立法研究会編. 『セクシュアル・ハラスメント : キャンパスから職場まで』信山社出版. 2000.10
- [580]山崎文夫著. 『セクシュアル・ハラスメントの法理 : 職場におけるセクシュアル・ハラスメントに関するフランス・イギリス・アメリカ・日本の比較法的検討』総合労働研究所. 2000.6
- [581]労働省女性局編. 『短時間労働者の雇用管理の改善等に関する法律 : パートタイム労働法の解

説』労務行政研究所。2000.3

[582]労働調査会編。『(チャート)パートタイム労働法 改訂』労働調査会。2000.6

[逐次刊行物]

[583]浅倉むつ子。「間接性差別とは何か(特集2 いま、女性の権利は)」国際女性(国際女性の地位協会 Ⅱ[編])14, 147~150頁 (2000.12)

[584]甘利てる代。「人事・賃金的话题を追う/東京にオープン「女性と仕事の未来館」」賃金事情(産労総合研究所 Ⅱ[編])2358, 3~5頁 (2000.2.20)

[585]居樹伸雄。「労働問題入門セミナー(9)女子雇用の増大と雇用・賃金の現状(その4)」労働と経済(共文社)1229, 2~5頁 (2000.5.25)

[586]石井隆昌。「管理職のための「悩みおしゃべり」(2)やる気のない女性行員。最近では他の女性行員たちにも悪影響が出始めて…」近代セーヌ(近代セーヌ社)45(8), 60~62頁 (2000.4.15)

[587]石川康宏。「癒されるべき企業社会の「病」・女性差別--90年代アメリカの「グローバル」戦略を背景に(特集 病むこととすこやかさ)」女性学評論(神戸女学院大学女性学インスティテュート Ⅱ[編])14, 43~76頁 (2000.3)

[588]伊藤真知子。「働く女性とく子育て」の保障」青少年問題(青少年問題研究会)47(6), 24~29頁 (2000.6)

[589]岩松かほる。「女性社員の能力向上と活用をめざして(特集1 男女共生の職場づくりをめざして)」産業訓練(日本産業訓練協会 Ⅱ[編])46(11), 14~17頁 (2000.11)

[590]宇佐美千晴。「女性の就労形態についての一考察--パートタイムの成り立ちと展望」新潟青陵女子短期大学研究報告(新潟青陵女子短期大学)30, 1~13頁 (2000.5)

[591]牛尾奈緒美。「企業の女性活用を促進する「アファーマティブ・アクション」導入に関する一考察:先進事例の検討を中心として」明治大学短期大学紀要(明治大学短期大学)66, 473~500頁 (2000.3)

[592]江渡まき。「女性組織のあり方と役割について--八王子市職女性部の設立と運営を通して思うこと(特集 女性活動をめぐる組合組織の課題)」労働調査(労働調査協議会)372, 17~20頁 (2000.2)

[593]奥山明良。「21世紀職業財団熊本事務所主催トピックセミナーより これからの企業社会と女性雇用管理--女性の能力活用と「アファーマティブ・アクション」Essor(21世紀職業財団 Ⅱ[編])80, 18~21頁 (2000.4)

[594]桂美紀。「パフォーマンス 総合職よさようなら 女性の働く意欲や能力をひきだせない企業に明日はない」進歩と改革(進歩と改革研究会 Ⅱ[編])579, 61~64頁 (2000.3)

[595]金子雅臣。「改正均等法によってセクシャル・ハラスメントはこう変わった 個人的な問題では済まされない 労務管理上の問題として企業責任が問われる--東京都労働経済局労政部課長補佐 金子雅臣さんに聞く(特集 女性をとりまく職場環境を考える)」いのちと健康(労働教育センター Ⅱ[編])406・407, 8~12頁 (2000.8)

[596]金崎一郎;久宗周二。「インタビュー 女性船員に関する実態調査について(特集 女性組合員は今)」海員(全日本海員組合)52(11), 22~27頁 (2000.11)

[597]神村俊一。「多様化する働き方と女性パートタイム労働者」労務研究(日本労務研究会)53(6), 2~14

頁（2000.6）

- [598]河本毅。「職場における女性の法的地位--住友電気工業事件に学ぶ」『ビジネスガイド』（日本法令 Ⅱ [編]）37(21), 35～42頁（2000.11）
- [599]斎藤悦子。「組織内ジェンダー文化をいかに克服するか--Maddock, S. (1999) Challenging Womenより（創立80周年記念特集 女性文化とジェンダー）」『女性文化研究所紀要（昭和女子大学女性文化研究所 Ⅱ [編]）』26, 89～96頁（2000.9）
- [600]坂本福子。「労働法の改定と女性（特集 女性と人権）」『部落（部落問題研究所出版部 Ⅱ [編]）』52（8）, 12～23頁（2000.7）
- [601]佐々木武夫。「女性労働と雇用環境改善の現状--「平成10年度福岡県女性労働実態調査」より」『西南学院大学商学論集（西南学院大学学術研究所）』46(3・4), 179～203頁（2000.2）
- [602]柴山恵美子。「教育の場から切りをなくすために--2000年「母と女性教職員の会」女性労働分科会の討議から」『労働運動研究（労働運動研究所）』374, 20～24頁（2000.12）
- [603]島村夏実。「エロひろば 職場の男女平等進めて 男の保育・女の建築」『ひろばエロ（労働者学習センター Ⅱ [編]）』461, 66～68頁（2000.7）
- [604]高木明郎; 渋谷雅之; 杉山久美子。「Monthly Report 女性が能力を発揮できる職場--均等推進企業優良3社の事例から」『エンパイ 首都圏版（雇用情報センター Ⅱ [編]）』17(4), 6～10頁（2000.4）
- [605]高橋省吾。「女性が働きがいを持ち、自己実現できる職場創造への取り組み（特集 女性労働の職域拡大における課題）」『労働調査（労働調査協議会）』379, 13～16頁（2000.9）
- [606]滝沢香。「事例にみる男性社員・女性社員の格差トラブルと企業の対応策」『ビジネスガイド』（日本法令 Ⅱ [編]）37(11), 58～63頁（2000.6）
- [607]張秋儉。「女性職員労働者のレイオフと再就職（特集 人民共和国の50年--中国の50年の胎動）」『中国21（愛知大学現代中国学部 Ⅱ [編]）』8, 191～212頁（2000.5）
- [608]東京都。「東京の女性労働事情（平成10年度）（特集 家庭にやさしい（ファミリーフレンドリー）企業--特集関連資料）」『企業福祉（産労総合研究所 Ⅱ [編]）』23(508), 43～49頁（2000.2.1）
- [609]東北大学労働法研究会。「労働判例研究 夫と共働きしながら子供を養育している女性労働者に対する転勤命令の効力--ケソット事件（最高裁平成12.1.28.判決）」『法学（東北大学法学会）』64(4), 524～529頁（2000.10）
- [610]中窪裕也。「労働保護法から労働基準法へ--労働憲章、賃金、女子・年少者の起草過程（立法史料からみた労働基準法）」『日本労働法学会誌（日本労働法学会）』95, 113～138頁（2000.5）
- [611]中嶋晴代。「労働現場における女性の人権（特集 女性と人権）」『部落（部落問題研究所出版部 Ⅱ [編]）』52(8), 24～33頁（2000.7）
- [612]橋本佳子。「女性の深夜労働--現行法にみる働く権利と使用者の義務」『労働運動（新日本出版社）』429, 166～175頁（2000.8）
- [613]林弘子。「雇用差別裁判の現状（特集2 いま、女性の権利は）」『国際女性（国際女性の地位協会 Ⅱ [編]）』14, 140～146頁（2000.12）
- [614]原野早知子。「女性労働者の権利をめぐる状況と課題（特集 労働者の人権）」『部落（部落問題研究所出版部 Ⅱ [編]）』52(1), 14～21頁（2000.1）
- [615]春木節子。「女性と仕事、その未来をみつめて（終）風土改革、均等推進、両立支援を3本柱に差別の

- ない生き生きとした職場環境づくり」財形福祉(財形福祉協会)26(12), 32～35頁 (2000.12)
- [616]三宅路子,「女性の働き方の多様化—ワタシのワークライフの例を中心に」群馬女子短期大学紀要(群馬女子短期大学)26, 163～183頁 (2000.12)
- [617]村上育子,「女性の技術者・技能者が誇りと自信をもって働ける建設現場とは(平成12年度建設産業人材確保・育成推進協議会全国会議 高校生・女性技術者・建設業者によるプレゼンテーション)」建設労働・資材月報(建設省建設経済局労働資材対策室 監修)26(11), 27～30頁 (2000.11)
- [618]安田大,「就業規則外の会社規程の見直し講座(8)育児休業規程の見直し」ビジネスガイド(日本法令 〔編〕)37(19), 68～70頁 (2000.10)
- [619]山本吉人,「改正労基法等に伴う就業規則の改定(4)5.女性労働と労働時間制」労務事情(産労総合研究所 〔編〕)956, 67～76頁 (2000.1.15)
- [620]吉田悟,「女性が就業継続する上で必要な施策・条件に関する探索的分析—男女平等施策と性別役割意識との関係に焦点をあてて」駒沢女子大学研究紀要(駒沢女子大学 〔編〕)7, 161～173頁 (2000.12)
- [621]労働省,「施行通達「労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の就業条件の整備等に関する法律等の一部を改正する法律、関係政省令等の施行について」(平成11年11月17日 女発第325号 職発第814号)(特集 施行された改正派遣法のポイント)」労務事情(産労総合研究所 〔編〕)956, 17～23頁 (2000.1.15)
- [622]労働省,「特集 ここが問題「コース別雇用管理」「コース等で区分した雇用管理についての留意事項」による啓発指導について(平成12年6月16日 女発第185号)」労務事情(産労総合研究所 〔編〕)37(971), 19～25頁 (2000.9.15)
- [623]労働省,「マテリアル 平成11年賃金構造基本統計調査結果速報—賃金の対前年比は0.5%、男性は0.1%、女性は1.2%と引き続き低い伸び 女性の勤続年数は前年より0.3年増加」かけはし(産業雇用安定センター 〔編〕)14(6), 32～35頁 (2000.6)
- [624]労働省,「労働時間データ 週所定労働時間は39時間14分(前年比9分短縮) 女性の深夜業従事者がいる企業は大規模で15.6%[平成11年賃金労働時間制度等総合調査]」賃金事情(産労総合研究所 〔編〕)2375, 55～61頁 (2000.11.20)
- [625]労働省,「労働省 職場におけるセクシャルハラスメントの防止対策の取組状況について—増加するセクシャルハラスメント相談—取組が進む大企業の防止対策(特集 労働組合の女性参加の現状と未来)」労働経済旬報(労働経済社 〔編〕)54(1653), 31～32頁 (2000.5.5)
- [626]労働省女性局,「育児・介護を行う労働者の生活と就業の実態等に関する調査—育児休業を取得しなかった者の65.3%が改善点として「職場の理解」を挙げる」労務Japan(ワークジェイ)282, 8～10頁 (2000.12.15)
- [627]労働省女性局,「職場におけるセクシャルハラスメントの防止対策の取組状況—増加するセクシャルハラスメント相談—都道府県労働局雇用均等室(「都道府県女性少年室」より組織変更)が扱った相談事例の概要」労務Japan(労務通信社 〔編〕)272, 14～17頁 (2000.7.15)
- [628]労働省女性局女性福祉課,「資料 平成11年度女性雇用管理基本調査結果概要」月刊社会保険労務士(全国社会保険労務士会)36(14), 52～57頁 (2000.12)
- [629]労働省女性局女性労働課,「資料 パート労働者の賃金・処遇をどう改善していくか(上)パートタイム労働者

- 働に係る雇用管理研究会報告と関係資料―通常の労働者との均衡を考慮したパートタイム労働者の雇用管理のための考え方の整理について 平成12年4月18日(労働省女性局所管)[含 パートタイム労働の現状について(関係資料)を紹介]」賃金と社会保障(労働旬報社 〓 [編])1276, 52～72頁 (2000.6.25)
- [630]労働省労働大臣官房政策調査部。「平成11年賃金構造基本統計調査(下)賃金の対前年比は0.5%、男性は0.1%、女性は1.2%と引き続き低い伸び。男性の年齢階級別賃金は55歳未満で前年を下回る。女性の勤続年数は前年より0.3年増加」労務Japan(労務通信社 〓 [編])271, 17～19頁 (2000.7.1)
- [631]渡辺章。「労働判例研究(932)第一種職員男子六五歳・女子五五歳、第二種職員男女五五歳の定年制の下で、第一種職員女子を第二種職員に呼称変更することの適法性―大阪高判平成10.7.7(大阪市交通局協力会事件)」ジュリスト(有斐閣 〓 [編]) 1184, 135～139頁 (2000.9.1)
- [632]渡部記安。「21世紀の公的年金政策(下)公的年金制度改正の検討(2)女性の雇用政策と密接不可分の年金政策」月刊労働組合(労働大学)416, 58～61頁 (2000.10)
- [633]「行政実務最前線パート/セカ対策で相談室を開設―栃木県足利市人事課」Gyosei EX(ぎょうせい 〓 [編])12(1), 6～8頁 (2000.1)
- [634]「職場で役立つ情報・データファイル 労働経済図説 大卒女性の就業動向と意識」労働運動(新日本出版社)429, 151～158頁 (2000.8)
- [635]「女性と仕事、その未来をみつめて(5)地域に密着した事業展開で雇用管理の改善などに取り組む―(財)21世紀職業財団」財形福祉(財形福祉協会)26(10), 23～27頁 (2000.10)
- [636]「女性に2重の負担を強いる「新・性別分業意識」の存在」中央調査報(中央調査社)512, 4613～4616頁 (2000.6)
- [637]「女性の活用支援(特集 中小企業を応援する諸施策)」労働と経営(中小企業労働福祉協会 〓 [編])38(7), 13～17頁 (2000.7)
- [638]「女性労働者の現場からの報告(特集 女性労働運動の発展のために)」交流センター(全国労働組合交流センター 〓 [編])11(9), 10～11頁 (2000.9)
- [639]「女性労働者の雇用管理の実態(労働省)―女性の管理職への登用進まず」労働と経済(共文社)122, 38～45頁 (2000.3.15)
- [640]「事例 日本IBM・・・メンタリング・プログラム―女性の能力開発を目的としてスタート スキルアップの発想で、事前に「自分に何が足りないのか」の自己分析を求める(特集 自律型社員を育てる)」企業と人材(産労総合研究所 〓 [編])33(746), 23～30頁 (2000.5.5)
- [641]「新ケーススタディー(16)女性労働者の雇用管理 男女均等な雇用管理を行うことが必要」労働基準広報(労働調査会 〓 [編])1341, 4～10頁 (2000.9.21)
- [642]「性差別的雇用管理を否認する判決―住友電工訴訟で女性原告側が全面敗訴(特集 憲法の保障する基本的人権は守られているか)」労働運動研究(労働運動研究所)371, 8～11頁 (2000.9)
- [643]「第3分科会 変わろう女と男・変えよう職場―女性に関わる労働条件と職場環境の検証・調査(第29回全国学校事務労働者交流集会(全交流・福島)のまとめ)」学校事務(学校出版)51(13), 206～208頁 (2000.12)
- [644]「通達 コース別雇用管理の導入・運用上の留意事項―均等法に違反しないための事項、実質的な男女

- 別の雇用管理とならないようにするための事項、女性の能力発揮のために望ましい事項の3つを示す<平成12.6.16女発第185号>」労働法令通信(労働法令協会 || 編)53(19), 2~7頁 (2000.7.8)
- [645] 「特集 女性労働の職域拡大における課題」労働調査(労働調査協議会)379, 3~28頁 (2000.9)
- [646] 「特集 女性をとりまく職場環境を考える」いのちと健康(労働教育センター || 編)406・407, 2~15頁 (2000.8)
- [647] 「特集 深夜勤務に女性を“活かす”!—防犯ヘルの貸与など安心できる職場環境を—日野自動車株式会社の取り組み」労働安全衛生広報(労働基準調査会)32(741), 6~11頁 (2000.2.15)
- [648] 「(ニュース・フラッシュ)労働・女性—性差別点検の手引作成(岐阜県)」厚生福祉(時事通信社)4813, 19頁 (2000.3.1)
- [649] 「能力を育て充実して働きつづきたい—信金大再編の職場で女性たちが直面していること」銀行労働調査時報(銀行労働研究会)609, 28~33頁 (2000.10)
- [650] 「「平成10年度 女性雇用管理基本調査」結果概要(労働省女性局)」女性と労働21(フォーラム・女性と労働21) || 編)8(32), 73~89頁 (2000.3)
- [651] 「平成11年度女性雇用管理基本調査結果概要(特集 仕事と家庭の両立を考える—育児・介護休業制度等に関する調査結果について)」Women & work(女性労働協会 || 編)133, 8~10頁 (2000.9)
- [652] 「「平成11年度女性雇用管理基本調査」結果概要(労働省—平成12年7月)」労働タイムス(労働調査会)801, 81~119頁 (2000.11)
- [653] 「<にわ・ぽ>女性が働きやすい職場づくりと支援策—センソ同盟「労働政策—男女平等社会の推進」」総合資料M&L(日本労政調査会 || 編)289, 60~70頁 (2000.4.15)
- [654] 「労務資料 平成11年賃金構造基本統計調査結果(2)時給は男性平均で1025円、女性は887円に—パートタイム労働者の賃金(労働省調べ)」労働基準広報(労働調査会 || 編)1329, 20~21頁 (2000.5.21)
- [655] 「労務資料/平成11年度女性雇用管理基本調査(2)6割超の事業所が休業中の賃金を無給に—家族看護休暇(労働省調べ)」労働基準広報(労働調査会 || 編)1339, 15~17頁 (2000.9.1)
- [656] 「労務相談室 <中学校卒業者を新規に雇用>卒業式後の3月中の就労は/<女性の結婚退職には退職金を上乗せ>均等法違反になるか/<従業員を他社に移籍させる場合>本人の同意は不要なのか/<20kg程度の荷物を取り扱う業務>男性のみの募集は可能か」労働基準広報(労働調査会 || 編)1323, 11~14頁 (2000.3.21)

Ⅲ．女性と管理職・キャリア

〔図 書〕

- [363]川合雅子著、『わたしの適性・適職発見 : キャリア発掘 短大・大学生版』学文社、2000.4
- [364]看護対人行動学研究会編著、『リーダーシップ&コミュニケーション対処術 : こんな時どうする? 対人行動学+キャリアナースの知恵で解決の糸口が見えてくる』日総研出版、2000.11
- [365]成美堂出版編、『女性の仕事全ガイド : 就職・転職・副収入2001年版』成美堂出版、2000.2
- [366]関口義著、『女性の職業と専修・各種学校ガイド[2001年最新版]』啓明書房、2000.8
- [367]高橋文子著、『転身 : キャリアウーマン10人の人生ファイル』牧野出版、2000.9
- [368]永岡書店編集部編、『女性に人気の資格試験オールガイド : 就職・転職・キャリアアップに自分をアピール2002年版』永岡書店、2000.9
- [369]古庄弘枝著、『彼女はなぜ成功したのか : 転職、再就職、起業少しの勇気と努力で未来は拓ける!』はまの出版、2000.8

〔逐次刊行物〕

- [370]青木朋江、[「女性管理職の学校経営 12」女性教師に責任ある仕事を--連載「女性管理職の学校経営」を終えて] 学校経営(第一法規出版)45(3), 96~101頁 (2000.3)
- [371]有馬真喜子;藤原房子;縫田曄子、「女性行政推進機構の軌跡--あのとき、この人(7)諮問機関に参加して--有馬真喜子・藤原房子両氏に聞く」女性展望(市川房枝記念会出版部 || [編])519, 10~15頁 (2000.9)
- [372]井形浩治、「アメリカ起業家の新潮流--女性起業家とマイリティ起業家の動向を中心に」京都学園大学経営学部論集(京都学園大学経営学部学会 || 編)10(1), 21~40頁 (2000.7)
- [373]五十嵐佳子、「女性弁護士物語(10)葉害イヅ[※]訴訟を取り組んで--鮎京真知子さん」法学セミナー(日本評論社 || [編])45(1), 76~81頁 (2000.1)
- [374]池木清、「各都道府県教委は学校管理職への女性登用を進めているか--99年の進出度ランキングと96年以降の各県の実績を検証」女子教育研究(日本橋女学館短期大学 || 編)27, 1~30頁 (2000.2)
- [375]伊沢喜美子;荒木愛子、「Millennium Report(7)悲運から立ち上がった女性ア[※]マン--オランダとの運命的な出会い ト[※]・ビ[※]ネア[※]代表 伊沢喜美子先生」Management consultant(日本経営士会 || [編])585, 8~10頁 (2000.12)
- [376]大沢真知子、「女性のキャリア形成と出生の変化(特集 少子化を考える)」統計(日本統計協会 || [編])51(3), 28~34頁 (2000.3)
- [377]太田房江、「「初的女性知事」になった私(特集 ソフトパワー関西)」潮(潮出版社 || [編])494, 136~141頁 (2000.4)
- [378]大野曜、「男と女-地域・社会のリ・デザイン(1)連携とアイデアで男女共同参画社会実現を--NVEC館長・大野曜さんに聞く」晨(ぎょうせい)19(1), 112~114頁 (2000.1)

- [379]加藤哲宏。「二一世紀に羽ばたく畜産女性ネットワーク―長野県畜産会の仲間づくり(特集 畜産女性の社会・経営参画)」畜産マガザット(中央畜産会 編)36(5), 30~36頁 (2000.5)
- [380]北村節子。「登る女たち(6)職業は登山ガイド―樋口英子と加藤貴子」岳人(中日新聞東京本社 編)640, 95~99頁 (2000.10)
- [381]桑原聡子。「女性の能力と個性が伴々と活きる組織風土と企業文化の検証報告(6)カンコー・マヨネーズ 営業戦略の担い手たち―藤原麗子さん、伴真理さん、渡辺早苗さんの巻」2020AIM(アイズ2020 編)178, 25~30頁 (2000.3)
- [382]桑原聡子。「女性の能力と個性が伴々と活きる組織風土と企業文化の検証報告 セブソーイルブソンの加盟店の業績をサポートする女性たち(前編)福田純子さんの巻(戦略技術論特集 不況だから売れないのではない、売っていないからだ!(後編))」2020AIM(アイズ2020 編)182, 84~87頁 (2000.7)
- [383]甲原友範;樗木武;梶田佳孝[他]。「女性有職者の目的連関と、それに基づく発生および集中モデルの構築に関する研究」九州大学工学集報(九州大学工学部)73(2), 157~164頁 (2000.3)
- [384]佐藤京子。「女性がつくるニューカント 風雅なもてなしといで湯で癒しを提供する秋田美人 佐藤京子(妙乃湯社長)」産業新潮(産業新潮社)49(9), 32~34頁 (2000.9)
- [385]佐藤百合子。「企業における女性研究者の就業実態とジェンダー・アプローム―製菓産業の男女比較調査を中心に(産能短期大学)創立50周年記念特別号」産能短期大学紀要(産能短期大学紀要委員会 編)34, 115~130頁 (2000.12)
- [386]渋谷更織。「物流業界(トラック業)における女性ドライバーの現状と課題」流通経済大学大学院経済学研究科論集(大学院経済研究科論集刊行会 編)8, 1~39頁 (2000.9)
- [387]嶋根政充。「女性起業家の人材活用条件とマネジメント・スタイルの認知的連関性」日本労務学会誌(日本労務学会 編)2(2), 25~36頁 (2000.7)
- [388]菅野淑子。「女性管理職の学校経営(11)教育課題にどう備えどう対応するか―校内暴力・非行・いじめ」学校経営(第一法規出版)45(2), 62~67頁 (2000.2)
- [389]杉沢三穂。「女性がつくるニューカント 目指すはクオリティの高い美しい仕事」産業新潮(産業新潮社)49(2), 32~34頁 (2000.2)
- [390]鈴木和枝。「キャリアと家事労働の両立目指し闘う女性記者―アジア女性ジャーナリスト会議から」新聞研究(日本新聞協会 編)590, 64~67頁 (2000.9)
- [391]鈴木邦子。「これからの女性起業を考える―女性農業者のネットワーク活性化と「複業化」への提言(特集 これからの協同組合事業方式)」協同組合経営研究月報(協同組合経営研究所)563, 20~24頁 (2000.8)
- [392]仙田幸子。「女性一般職のキャリア形成―その促進要因と限界」女性労働研究(女性労働問題研究会 編)38, 96~102頁 (2000.7)
- [393]仙田幸子。「女性一般職の「ヨ」の移動」によるキャリア形成―大手商社を事例として(若年研究者海外派遣制度研修報告)産業・組織心理学研究(産業・組織心理学会編集委員会 編)13(1), 31~37頁 (2000.11)
- [394]高木あやか。「新シリーズ《輝く米国女性エグゼクティブたち(1)》ダーリン・ヤブリー(サマク・システムズ 副社長) 得意なこと、やりたいことを見極める」人材ス(日東企画事業社 編)6(12), 76~78頁 (2000.12)

- [395]高任和夫。「女起業家にみたもの」本(講談社)25(7), 50~52頁 (2000.7)
- [396]滝田誠一郎。「企業探訪(66)モトローラ-女性の活用を促進する管理職強化育成プログラム」賃金実務(産労総合研究所 || [編])37(852), 72~75頁 (2000.2.15)
- [397]田口美菜子; 大山ゆかり; 藤原深雪[他]。「座談会 女性「地すべり防止工事士」の体験談」地すべり技術(地すべり対策技術協会 || [編])27(1), 41~46頁 (2000.7)
- [398]橘久美子。「広がれ 女性職員の輪--中国郵政女性管理者等の会「アリスの会」の活動」郵政研究(郵研社)270, 26~32頁 (2000.9)
- [399]建部洋子。「ニューヨーク日本女性団員第1号--音楽一家が奏でる幸せのハーモニー」婦人公論(中央公論社 || [編])85(6), 184~186頁 (2000.4.7)
- [400]谷口早稲。「女性がつくるニューカウト 21世紀を担う大切な赤ちゃんの心豊かな成長に貢献する--谷口早稲 ヲグアベビー社長」産業新潮(産業新潮社)49(11), 38~40頁 (2000.11)
- [401]中村詩朗; 藤原充子; 溝淵悦子[他]。「座談会(高松)求む女性弁護士(日本女性法律家協会)創立50周年記念特集」女性法律家協会会報(日本女性法律家協会 || [編])38, 78~84頁 (2000.10)
- [402]21世紀職業財団。「総合職女性の就業実態調査結果概要」Women & work(女性労働協会 || [編])133, 22~25頁 (2000.9)
- [403]野畑真理子。「企業主義と女性雇用者のキャリア形成」都留文科大学研究紀要(都留文科大学)52, 61~78頁 (2000.3)
- [404]波多野容子。「女性がつくるニューカウト 人間は全てが自分自身の課した信念の通りになる」産業新潮(産業新潮社)49(10), 32~34頁 (2000.10)
- [405]藤井竜子。「霞が関女性官僚は職業のプロフェッショナルである(特集 女性官僚から見た霞ヶ関)」時評(時評社)42(6), 46~49頁 (2000.6)
- [406]藤田主一。「青年期女性の職業意識と職業観(3)特に、女子の職場環境と労働観に関する調査から」秘書学経営実務研究誌(城西大学女子短期大学部経営学科 || [編])15, 9~16頁 (2000.3)
- [407]古川雅子; Yasuda, Cathy。「米国女性起業家、ニッポンを行く--アメリカIT市場はもう飽和。いま一番ホットなのは日本だ(IT Revolution--特集 IT革命進行中)」Aera(朝日新聞社 || [編])13(29), 92~95頁 (2000.7.5)
- [408]三神丸枝。「女性群像210(3)邦楽の文化を守るため都々逸教室開いた芸人の心意気--邦楽家三神丸枝」財界につぼみ(財界ニッポン社)32(10), 72~75頁 (2000.10)
- [409]三好かやの。「女だからの経営論(35)(株)小川の庄のみなさん(長野県・小川村)」農業経営者(農業技術通信社 || [編])8(1), 32~34頁 (2000.1)
- [410]三好かやの。「女だからの経営論(38)新好子さん(埼玉県・深谷市)」農業経営者(農業技術通信社 || [編])8(4), 43~45頁 (2000.4)
- [411]三好かやの。「女だからの経営論(39)樋口静子さん(佐賀県・鹿島市)」農業経営者(農業技術通信社 || [編])8(5), 41~43頁 (2000.5)
- [412]三好かやの。「女だからの経営論(41)関根佐智子さん(埼玉県・岩槻市)」農業経営者(農業技術通信社 || [編])8(7), 38~40頁 (2000.7)
- [413]三好かやの。「女だからの経営論(42)安田弥生さん(東京都・八王子市)」農業経営者(農業技術通信社 || [編])8(8), 40~42頁 (2000.8)

- [414]三好かやの。「女だからの経営論(45)萩原さとみさん(埼玉県・浦和市)」農業経営者(農業技術通信社 〔編〕)8(11), 32~34頁 (2000.11)
- [415]三好かやの。「女だからの経営論(46)池田香奈さん(広島県・上下町)」農業経営者(農業技術通信社 〔編〕)8(12), 31~33頁 (2000.12)
- [416]三好かやの。「変える・守る・育てる・創る--女だからの経営論(40)渋谷文枝さん(宮城県小野田町)」農業経営者(農業技術通信社 〔編〕)8(6), 44~46頁 (2000.6)
- [417]森田美佐。「総合職女性の就業と家庭の両立について--その現状と課題」家政学研究(奈良女子大学家政学会 〔編〕)47(1), 35~40頁 (2000.10)
- [418]山崎トミ子。「女性起業のネットワーク化で、女性パワー全開(7)『農業20代表 平成12年度全国農業コンクール特集号--生活部門』」農業と経済(富民協会 〔編〕)66(17), 97~101頁 (2000.12)
- [419]山中恵子。「企業から 三笠運輸株式会社の女性活用」Women & work(女性労働協会 〔編〕)133, 26~28頁 (2000.9)
- [420]山中恵子。「企業スガッ 三笠運輸株式会社 事業主の強力なレディファイトと、女性管理職の具体的な方針の策定により、男性中心であった職場を女性にも働きやすい環境に整備、女性の活用・育成に取り組む」Essor(21世紀職業財団 〔編〕)82, 6~9頁 (2000.8)
- [421]山本祐司。「女性弁護士物語(11)最高裁違憲判決にかかわった女性判事--高橋久子さん」法学セミナー(日本評論社 〔編〕)45(2), 82~85頁 (2000.2)
- [422]山本祐司。「女性弁護士物語(完)環境問題・化学合成物質の裁判にかかわって--神山美智子さん」法学セミナー(日本評論社 〔編〕)45(3), 76~79頁 (2000.3)
- [423]芳賀恵子。「女性がつくるニューカルト 一度の人生、自分の好きなことで勝負してみよう」産業新潮(産業新潮社)49(12), 32~34頁 (2000.12)
- [424]「新しい創業の実態と今後の可能性--女性と中高年起業家の研究」調査研究報告(中小企業研究センター 〔編〕)103, 1~202頁 (2000.3)
- [425]「起業する女性たち--付加価値を付けることで個性豊かな地域社会を創造(女性が活躍する地域社会--地方シカクネットワーク)」NIRA政策研究(NIRAサービスセンター 〔編〕)13(8), 28~35頁 (2000.8)
- [426]「座談会 業界の第一線で活躍されている女性大いに語る」エレクト界(日本エレクト界協会, 広研社)35(139), 42~49頁 (2000.7)
- [427]「職場を変えるエレクト界--女性課長のパワーと発想(選職に挑む--200人に聞く成功の秘訣--200人のアドバイス)」Aera(朝日新聞社 〔編〕)13(13), 67~74頁 (2000.3.25)
- [428]「女性アーティストの素顔(特集 女性アーティストの仕事と感性)」月刊美術(ザ・アート 実業之日本社(発売))26(11), 52~56頁 (2000.11)
- [429]「女性経営者特集」産業能率(大阪府立産業開発研究所 〔監修〕)522, 1~22頁 (2000.9)
- [430]「女性がつくるニューカルト 変革期にある日本にびったり当てはまるFCビジネスを全国展開--上野照子 日本環境美化協会 会長」産業新潮(産業新潮社)49(6), 32~34頁 (2000.6)
- [431]「シリーズ 翔く女性起業家(株)ミズルビソグ 宇津崎光代社長--実験ハウス『ひまわりの館』--一人に優しい究極の住まいを 集大成は理想の老人ホーム」月刊公論(財界通信社)33(1), 65~68頁 (2000.1)
- [432]「資料 総合職女性の就業実態(21世紀職業財団)総合職全体に占める女性の割合は3.5%」労政時報(労務行政研究所)3458, 37~40頁 (2000.9.8)

- [433]「総合職女性の就業実態調査結果概要(労働省(財)21世紀職業財団 平成12年6月)」労働タイム(労働調査会)799, 23～50, 184～190頁 (2000.9)
- [434]「総合職女性の就業実態調査結果発表」Essor(21世紀職業財団 || 編)82, 10～13頁 (2000.8)
- [435]「大卒10年のキャリアー将来不安の男性に対し、女性は定着率向上」財形(財産形成リサーチセンター)29(4), 12～17頁 (2000.4)
- [436]「調査資料 21世紀職業財団「総合職女性の就業実態調査」--4社に1社がコース別雇用管理制度導入」労経ファイル(日本労政調査会 || 編)298, 44～51頁 (2000.9.15)
- [437]「特集 女性少年室の仕事」職業安定広報(労働省職業安定局 || 編)51(4), 6～14頁 (2000.2.21)
- [438]「特別レポート 女性起業家の理想と現実 わたしたちはしなやかに、したたかにたたかう」ベンチャークラブ(東洋経済新報社 || [編])85, 84～86頁 (2000.11)
- [439]「日本の伝統文化をビジュにした飾り・女性社長は経営者かアーティストか(特集 彼らに業界常識、成功体験はいらない「異能の経営」「異端の会社」)」経済界(経済界 || [編])35(9), 174～176頁 (2000.5.16)
- [440]「ニューゲーズ・ステディと女性リーダー研修ひらく 出会いと気づきの新しい発見」Report(情報産業労働組合連合 || [編])18(2), 4～6頁 (2000.11)
- [441]「ネット長者な女性ベンチャー」Aera(朝日新聞社 || [編])13(17), 23～26頁 (2000.4.17)
- [442]「初の女性知事誕生の意味!」財界(財界研究所 || 編)48(5), 16～26頁 (2000.2.29)
- [443]「ベンチャー企業血風録 日本に中国茶を広めたい--いつも明るく前向きに”茶業”にうち込む女性社長 タイカトレーディング株式会社代表取締役社長・葉泰美(ようたいみ)さん」フェイス3(日本医療企画 || [編])195, 78～80頁 (2000.11)

IV. その他

[図 書]

- [679]あごら新宿編. 『今どき女性差別ははやらない : 日立とたたかう九人の女たち』BOC出版部. 2000.5
- [680]浅倉むつ子著. 『労働とジェンダーの法律学』有斐閣. 2000.11
- [681]犬伏由子・棕野美智子共著. 『女性学キーンナンバー』有斐閣. 2000.12
- [682]上野勝代[ほか]著. 『女性の仕事おこし、まちづくり : 男女共同参画社会へのエンパワーメント』学芸出版社. 2000.4
- [683]エリザベス・ウイ・エヴィオータ著. 佐竹真明[訳]. 『ジェンダーの政治経済学 : フィリピンにおける女性と性的分業』明石書店. 2000.1
- [684]大蔵省印刷局編. 『男女共同参画白書のあらまし 平成12年版』大蔵省印刷局. 2000.9
- [685]大沢真理編. 『21世紀の女性政策と男女共同参画社会基本法』ぎょうせい. 2000.5

- [686]関西女の労働問題研究会編、『働く女たちの記録21世紀へ：次代を紡ぐ公募編』松香堂書店、2000.11
- [687]木本喜美子・深澤和子編著、『現代日本の女性労働とジェンダー：新たな視角からの接近』ミネルヴァ書房、2000.11
- [688]熊沢誠著、『女性労働と企業社会』岩波書店、2000.10
- [689]金野美奈子著、『OLの創造：意味世界としてのジェンダー』勁草書房、2000.2
- [690]佐々木静子編著、『女性が変わる生活と法：男女共同参画社会をめざして』ミネルヴァ書房、2000.3
- [691]塩田咲子著、『日本の社会政策とジェンダー：男女平等の経済基盤』日本評論社、2000.5
- [692]柴山恵美子・藤井治枝共著、『各国企業の働く女性たち：取り巻く現状と未来展望』ミネルヴァ書房、2000.8
- [693]主婦の友社編、『働くママで、よかった：仕事も、育児も、もっと楽しくなる』主婦の友社、2000.10
- [694]女性学研究会編、『ジェンダーと性差別 POD版』勁草書房、2000.10
- [695]杉山由美子著、『共働きで「家を選ぶ」ということ：妻が仕事を辞める家、辞めない家』WAVE出版、2000.9
- [696]総理府編、『男女共同参画白書 平成12年版』大蔵省印刷局、2000.6
- [697]高良留美子・岩見照代共編、『女性のみた近代：職場015』ゆまに書房、2000.6
- [698]高良留美子・岩見照代共編、『女性のみた近代：やとな物語013』ゆまに書房、2000.6
- [699]トライワークス編著、『仕事と家庭と子育てと、私(わたし)：働きつづける困難を乗り越えた女性たちの胸のうち』本の泉社、2000.3
- [700]中川昌代編著、『働く女性(ひと)』文真堂、2000.4
- [701]中崎峰子著、『働く女性、そのときあなたはどうか』悠飛社、2000.12
- [702]日本ジェンダー学会編、『ジェンダー学を学ぶ人のために』世界思想社、2000.4
- [703]日本婦人団体連合会編、『女性白書：平等・開発・平和—21世紀への課題2000』ほるぷ出版、2000.8
- [704]日本婦人問題懇話会会報アンソロジー編集委員会編、『社会変革をめざした女たち：日本婦人問題懇話会会報アンソロジー』ドメス出版、2000.9
- [705]古舘真[著]、『男女平等への道』明窓出版、2000.2
- [706]北京JAC第4回全国シンポジウム実行委員会・世界女性会議ネットワーク静岡共編、『21世紀・ローカルからグローバルへ：女たちがめざす新時代 北京JAC第4回全国シンポジウムの記録』松香堂書店、2000.2
- [707]マザー・ネットワーク編、『ワーキング・マザーの子育て心得帳：小学生のお母さんのお助け情報満載!』PHP研究所、2000.10
- [708]丸屋真也著、『心のオアシス：女性のための実践的自立学』女子栄養大学出版部、2000.12
- [709]森永康子著、『女性の就労行動と仕事に関する価値観』風間書房、2000.12
- [710]山口のり子著、『海外でつくった!人の輪・仕事の環：シンガポール・女たちのわたしらしく、わたし育て』梨の木舎、2000.3

- [711]山下泰子[ほか]著、『法女性学への招待 新版』有斐閣、2000.6
- [712]山梨学院大学行政研究センター編、『男女平等社会の実現と自治体の役割：山梨学院大学行政研究センター・山梨学院大学大学院公共政策研究科公開シンポジウム』公人の友社、2000.2
- [713]労働省女性局編、『女性労働白書：働く女性の実情 平成11年版』21世紀職業財団、2000.4
- [714]『国際女性：特集国連女性2000年会議no.14(2000)』国際女性の地位協会、2000.12
- [715]『男女共同参画社会の形成の状況に関する年次報告：平成11年度』[総理府]、200

[逐次刊行物]

- [716]浅倉むつ子、「男女共同参画社会基本法と条例—労働法へのインパクト(特集 いま、女性の権利を展望する)」労働法律旬報(労働旬報社 || [編])1487, 7~18頁 (2000.9.10)
- [717]阿部浩己、「国際人権と女性—女性差別撤廃条約 選択議定書の意味するもの(特集 いま、女性の権利を展望する)」労働法律旬報(労働旬報社 || [編])1487, 19~29頁 (2000.9.10)
- [718]新田日夏実、「フィリピンにおける女子移動者の労働経験—特に初職獲得過程について」四国学院大学論集(四国学院大学)102, 79~106頁 (2000.7)
- [719]伊井啓子;宗石こずゑ;門田都已[他]、「資料 老親の介護に関する働く女性の意識—看護職とその他の働く女性の意識の違い」高知女子大学看護学会誌(高知女子大学看護学会 || [編])25(1), 73~80頁 (2000.6)
- [720]大沢真知子、「女性労働者はどう変わる—経済社会を変える旗手、女性労働者」Report(情報産業労働組合連合 || [編])17(4), 16~19頁 (2000.2)
- [721]大沢真知子;鈴木春子、「女性の結婚・出産および人的資本の形成に関するパネラー分析—出産退職は若い世代で本当に増えているのか」家計経済研究(家計経済研究所 || [編])48, 45~53頁 (2000.10)
- [722]大貫いさ子、「農業・農村のパートナシップの実現をめざして—ジェンダーの視点からみた農村女性の課題(特集 女性の輝きが農村をかえる)」農業と経済(富民協会 || [編])66(11), 25~30頁 (2000.8)
- [723]大橋照枝、「女性に向かう企業の経営不振のゆ(特集 さよなら「正社員」)」エコミスト(毎日新聞社 || [編])78(38), 84~85頁 (2000.9.12)
- [724]奥山睦;田村のりこ、「は・た・ら・く(9)パワフルは女性にとって福音—働く女性のためのパワフルネットワークを組織—奥山睦さんに聞く」女も男も(季刊「女も男も」編集委員会 || 編)83, 32~34頁 (2000.4)
- [725]折井美耶子、「女性の人権—男女の平等を求めて(特集 現代史を問い直す)」歴史地理教育(歴史教育者協議会 || 編)617, 15~21頁 (2000.12)
- [726]瀬川正敏、「特別掲載 少子化と女性の労働市場への進出(下)」週刊社会保障(法研 || [編])54(2073), 60~63頁 (2000.2.7)
- [727]川手督也、「男女共同参画社会における「パートナシップ経営」とは—とくに女性の経営権・財産権の確立を求めて(特集 農村の男女共同参画社会の実現を求めて)」北方農業(北海道農業会議 || [編])50(12), 5~10頁 (2000.12)

- [728]川手督也,「「パート・タイマー」経営」の理念と課題--女性の経営権・財産権の確立を(特集 平成11年度大会地域シナリズム 家族経営協定の現状と課題)」農村生活研究(日本農村生活学会 〔編〕)44(2), 11~14頁 (2000.3)
- [729]北川太一,「JA女性組織の活性化とJA運営への参画(特集 男女共同参画社会と農業・JA)」月刊JA(全国農業協同組合中央会 〔編〕)46(8), 40~43頁 (2000.8)
- [730]木下武男,「労働運動フェミニズムの提起--労働運動にフェミニズム視点を(特集 女性労働とフェミニズム--二一世紀に向けてその最前線--労働運動とフェミニズム)」女性労働研究(女性労働問題研究会 〔編〕)38, 6~14頁 (2000.7)
- [731]熊谷毅,「女性と仕事、その未来をみつめて(2)仕事と子育てや介護との両立の負担を少なくし若い人が希望を持てるようにしたい」財形福祉(財形福祉協会)26(7), 34~36頁 (2000.7)
- [732]伍淑子,「女性いきいき 男女がともに人間らしく働く(労働運動最前線)」労働運動(新日本出版社)426, 126~129頁 (2000.5)
- [733]国連広報センター[訳],「資料:女性差別撤廃条約選択議定書」国際女性(国際女性の地位協会 〔編〕)14, 79~81頁 (2000.12)
- [734]崔肅京;木村伸男;川村保,「農業経営における女性の役割--経営の合理化に視点をにおいて」農村生活研究(日本農村生活学会 〔編〕)44(2), 43~51頁 (2000.3)
- [735]崔肅京;木村伸男,「農業法人化による女性の役割変化」農業経営研究(日本農業経営学会 〔編〕)38(2), 37~42頁 (2000.9)
- [736]斎藤喜久志,「働く女性達と大学院教育」教育研究(青山学院大学教育学会)44, 85~95頁 (2000.3)
- [737]斎藤純子,「女性の職場進出--ヨーロッパの現状と最近の取り組み(特集 女性労働の職域拡大における課題)」労働調査(労働調査協議会)379, 24~28頁 (2000.9)
- [738]佐藤千登勢,「第二次大戦期の航空機産業における女性労働(1)アメリカ合衆国と日本,比較女性労働史の試み」西南学院大学国際文化論集(西南学院大学学術研究所 〔編〕)15(1), 63~88頁 (2000.9)
- [739]佐藤晴美,「女性労働とM字型就労」白鷗学生論集(白鷗女子短期大学)25, 153~167頁 (2000.3)
- [740]残間里江子,「新世紀女性の社会進出を見通して(特集 短期大学50年新世紀へに向けて)」短期大学教育(日本私立短期大学協会)56, 94~99頁 (2000.4)
- [741]塩田咲子,「女性の生き方・働き方と年金(特集 どうなる?あなたの年金)」消費者情報(関西消費者協会 〔編〕)314, 12~15頁 (2000.9)
- [742]渋谷敦司,「女性政策とフェミニズム理論(特集 女性労働とフェミニズム--二一世紀に向けてその最前線--女性労働とフェミニズム理論)」女性労働研究(女性労働問題研究会 〔編〕)38, 70~78頁 (2000.7)
- [743]人事院管理局国際課,「欧米公務員事情(5)フランスにおける女性公務員の現状と今後の展望」人事院月報(人事院管理局 〔編〕)53(7), 26~29頁 (2000.7)
- [744]袖井孝子,「いっしょにこの人に聞く 袖井孝子(女性と年金検討会座長)--女性の社会進出等の変化に適応した制度を構築」週刊社会保障(法研 〔編〕)54(2102), 4~5頁 (2000.9.11)
- [745]高岡日出子;藤原房子;正路怜子[他],「「女性2000年会議」と日本のNGO」女性展望(市川房枝記念

会出版部 || [編])519, 6~9頁 (2000.9)

[746]竹内敬子, 「ワーク工場法とフェミニズム(特集 女性労働とフェミニズム--二一世紀に向けてその最前線--労働運動とフェミニズム)」女性労働研究(女性労働問題研究会 || 編)38, 33~41頁 (2000.7)

[747]竹内敬子, 「Working Woman and the Factory Act of 1874 = ワーク1874年工場法と女性労働者 [英文]」成蹊大学文学部紀要(成蹊大学文学部)35, 103~121頁 (2000.3)

[748]多田とよ子, 「語りつぐ女性活動12 中小にも機械化の波 苦渋の交替制勤務導入」ひろばエウ (労働者学習センター || [編])456, 72~75頁 (2000.2)

[749]多田とよ子, 「語りつぐ女性活動(14)走り続けた18年。女性組合長“原点”を語る」ひろばエウ (労働者学習センター || [編])458, 72~75頁 (2000.4)

[750]多田とよ子, 「語りつぐ女性活動(15)仕事も子育ても 働く女性の思いと運動」ひろばエウ(労働者学習センター || [編])459, 72~75頁 (2000.5)

[751]田中恭子;近江美保, 「第23回国連特別総会『女性2000年会議』傍聴報告(特集1 国連女性2000年会議--女性2000年会議と成果文書)」国際女性(国際女性の地位協会 || [編])14, 93~96頁 (2000.12)

[752]田村慶子, 「シガポールの女性と労働--変容する経済政策と期待される女性像(特集 アジアに見る女性の社会参加)」APCアジア太平洋研究(アジア太平洋センター || 編)7, 16~25頁 (2000.10)

[753]多谷千香子, 「第22・23回女子差別撤廃委員会の報告」国際女性(国際女性の地位協会 || [編])14, 18~22頁 (2000.12)

[754]多谷千香子, 「立法短信 個人通報制度の法的課題--女子差別撤廃条約選択議定書「手続き規則」をめぐる」ジェリスト(有斐閣 || [編])1185, 76~78頁 (2000.9.15)

[755]多谷千香子, 「論点 女性差別撤廃条約選択議定書の個人通報制度」女性展望(市川房枝記念会出版部 || [編])520, 15~17頁 (2000.10)

[756]永瀬伸子, 「家族と女性の就業と公的介護保険(特集 介護保険制度をめぐる諸問題)」季刊社会保障研究(国立社会保障・人口問題研究所 || 編)36(2), 187~199頁 (2000.9)

[757]永瀬伸子, 「仕事と子育てを両立できない本当の理由--女性の雇用・少子化と社会経済システム(特集 人材の市場化)」エコミックス(『エコミックス』編集委員会 || 編)2, 64~73頁 (2000.4)

[758]中野麻美;逆井征子;柚木康子, 「座談会「労働運動フェミニズム」の可能性(特集 女性労働とフェミニズム--二一世紀に向けてその最前線)」女性労働研究(女性労働問題研究会 || 編)38, 42~60頁 (2000.7)

[759]中野麻美, 「女性の労働--その実態(特集 働く人たちの権利を学ぶ)」歴史地理教育(歴史教育者協議会 || 編)614, 20~25頁 (2000.10)

[760]中道仁美, 「女性が農家、農業、農村で働くことの意味(特集 男女共同参画社会と農業・JA)」月刊JA(全国農業協同組合中央会 || [編])46(8), 44~47頁 (2000.8)

[761]中村ひろ子, 「女性労働者は二重の差別に苦しむ(憲法改悪の動きと日常的民主主義闘争)」社会主義(大内兵衛, 向坂逸郎 || 編)447, 30~35頁 (2000.5)

[762]21総合研究所ビジョン研究会, 「男女平等社会への展望--女性が働きやすく、能力を発揮しやすい社会」21総研レポート(21総合研究所 || [編])146, 2~18頁 (2000.2)

[763]野瀬善昭;平松紀子, 「介護保険制度導入による女性の社会進出を考える」Crec(中部開発センター ||

- [編])132, 20~37頁 (2000.9)
- [764]橋本健二。「フェミニズムからみた階級理論・階級理論からみた女性(特集 女性労働とフェミニズム--二一世紀に向けてその最前線--女性労働とフェミニズム理論)」女性労働研究(女性労働問題研究会 || 編) 38, 79~87頁 (2000.7)
- [765]林美香子。「基調講演 女性が主役--元気な北海道農業(特集 平成11年度農村女性フェスティバル)」農家の友(北海道農業改良普及協会, 酪農センター || 編)52(4), 94~97頁 (2000.4)
- [766]樋口恵子。「女性の社会参加--参加から参画へ(20世紀をふりかえる(20・完))」書齋の窓(有斐閣)500, 59~64頁 (2000.12)
- [767]広田寿子。「記念講演 働く女の百年とその背景(特集 第39回 全国保育問題研究集会・報告)」季刊保育問題研究(全国保育問題研究協議会編集委員会 || 編)185, 10~43頁 (2000.10)
- [768]朴恩正。「アジア金融危機以降の韓国労働市場における女性労働について--法的保護を中心に(特集 アジアに見る女性の社会参加)」APCアジア太平洋研究(アジア太平洋センター || 編)7, 26~35頁 (2000.10)
- [769]堀口悦子。「NGOの動き(特集1 国連女性2000年会議--NGOワークショップ報告)」国際女性(国際女性の地位協会 || 編)14, 112~114頁 (2000.12)
- [770]丸川潤子。「農村女性の声 新しい農業経営の出発」圃場と土壌(日本土壌協会 || 編)32(9), 51~54頁 (2000.9)
- [771]三木奈都子。「戦後における漁家女性の就業変化と漁家家族」水産振興(東京水産振興会)34(12), 1~40頁 (2000.12)
- [772]御手洗容子。「子育てと仕事のハウダリー(7)女性の生き甲斐」ハウダリー(コパース社 || 編)16(3), 53~55頁 (2000.3)
- [773]宮城島清也。「女性が起こす事業型市民活動の可能性--新たな価値創造へのステップ(女性が活躍する地域社会--地方シタックフォーラム--起業する女性たち--付加価値を付けることで個性豊かな地域社会を創造)」NIRA政策研究(NIRAサピエンスセンター || 編)13(8), 32~35頁 (2000.8)
- [774]森田園子。「事務職の拡大と女性化(英国の場合)」文化研究(樟蔭女子短期大学 || 編)14, 63~74頁 (2000.6)
- [775]山下威士; 山下泰子。「女性差別撤廃条約・選択議定書締約国--レポート提出・審議状況一覧」国際女性(国際女性の地位協会 || 編)14, 28~35頁 (2000.12)
- [776]山下泰子。「女性差別撤廃条約選択議定書の採択後の状況」国際女性(国際女性の地位協会 || 編)14, 73~79頁 (2000.12)
- [777]山下泰子。「ハコデイスカッション--女性差別撤廃条約と日本(特集1 国連女性2000年会議--国際女性の地位協会ワークショップ報告)」国際女性(国際女性の地位協会 || 編)14, 101~104頁 (2000.12)
- [778]吉宮聡悟。「国際産業別組織(ITS)女性担当者会議の報告」連合国際レポート(日本労働組合総連合会総合国際局)5, 25~26頁 (2000.10.15)
- [779]労働省。「資料 平成11年版 働く女性の実情(特集 21世紀・男女共同参画基本計画策定にむけて) 女性と労働21(フォーラム「女性と労働21」 || 編)9(33), 58~82頁 (2000.7)
- [780]労働省。「平成11年版働く女性の実情」旬刊労働実務(政経研究所)1301, 2~14頁 (2000.6.1)
- [781]労働省。「平成11年度版・働く女性の実情」経営労務(日本経営教育センター || 編)541, 1~5頁 (200

0.6)

- [782]労働省女性局、「平成11年版働く女性の実情(上)」労務Japan(労務通信社 〔編〕)269, 3～7頁 (2000.6.1)
- [783]労働省女性局、「平成11年版働く女性の実情(中)」労務Japan(ワークジェイ)270, 10～13頁 (2000.6.15)
- [784]労働省女性局、「平成11年版働く女性の実情(下)」労務Japan(労務通信社 〔編〕)271, 7～11頁 (2000.7.1)
- [785]労働省女性局女性政策課、「「女性と仕事の未来館」がオープンしましたー働く女性、働きたい女性を応援します」ろうさい(労働福祉共済会)51(3), 18～21頁 (2000.3)
- [786]労働省女性局女性政策課、「平成11年版 女性労働白書ー働く女性の実情」Essor(21世紀職業財団 〔編〕)81, 16～19頁 (2000.6)
- [787]労働省女性局女性労働課、「資料 働く女性の実情 99年版女性労働白書ー増加傾向にあった雇用者は、98年以降2年連続で減少」労政時報(労務行政研究所)3449, 45～52頁 (2000.6.23)
- [788]労働省女性局女性労働課、「平成11年版働く女性の実情」Women & work(女性労働協会 〔編〕)131, 22～31頁 (2000.3)
- [789]脇川祥子、「大競争時代を勝ち抜くアメリカの流通・サービス業(7)インポート・ストアを成功させた女性起業家」流通ネットワーキング(日エ・テクノロジー 〔編〕)134, 65～68頁 (2000.4)
- [790]渡辺真知子、「女性の労働参加(特集 20世紀の軌跡:日本の社会)」統計(日本統計協会 〔編〕)51(11), 29～35頁 (2000.11)
- [791]「アメリカ 女性連邦職員雇用差別、5億800万ドルで和解(国別労働事情)」海外労働時報(日本労働研究機構 〔編〕)24(6), 55頁 (2000.6)
- [792]「男と女ー地域・社会のリ・デザイン(3)女性起業家が100人超!地域と女性を活発にする「やまぐち女性起業家支援」山口県」晨(ぎょうせい)19(3), 106～109頁 (2000.3)
- [793]「企業訪問 ショップ・リ・デザイン 経営戦略の一つの柱として「高年齢従業員・女性従業員を基幹労働力」と位置づけ、様々な改善策を実施ー(株)デビプロメック(長野)」エリター(高年齢者雇用開発協会)22(9), 39～42頁 (2000.9)
- [794]「企業ポートレート ベンリーー食品工業ー製造から営業まで弁当ビジネスに女性の優れた特質を活かす食品製造卸売業」マネジメントレポート(第一勧銀総合研究所 〔編〕)393, 42～47頁 (2000.10)
- [795]「高学歴女性の仕事に関する意識(日本労働研究機構)就業意欲、社会への参加意欲は強い」労働と経済(共文社)1232, 29～34頁 (2000.6.25)
- [796]「女性、高齢者の就業率上昇とIT革命ー「人口減少下の経済に関する研究会」中間報告より」財形(財産形成財団センター)29(9), 33～37頁 (2000.9)
- [797]「女性差別撤廃条約に関する国内文献」国際女性(国際女性の地位協会 〔編〕)14, 211頁 (2000.12)
- [798]「女性と仕事の未来館オープン」女性展望(市川房枝記念会出版部 〔編〕)512, 16頁 (2000.2)
- [799]「女性の完全失業率は過去最高の4.5%ー11年版「女性労働白書」、労働力人口は0.4%減」週刊年金実務(社会保険実務研究所 〔編〕)1390, 18頁 (2000.5.15)
- [800]「女性労働者の闘いの歴史から学ぶ(特集 女性労働運動の発展のために)」交流センター(全国労働組

- 合交流センター〔編〕11(9), 8~9頁 (2000.9)
- [801] 「女性労働とフェミニズム理論(特集 女性労働とフェミニズム--二一世紀に向けてその最前線)」女性労働研究(女性労働問題研究会 編)38, 61~87頁 (2000.7)
- [802] 「資料 女性差別撤廃条約の選択議定書(特集 女性と人権)」部落(部落問題研究所出版部 編)52(8), 87~90頁 (2000.7)
- [803] 「スペイン 期限付き雇用の状況/家庭と職場の両立、女性だけの問題か(国別労働事情)」海外労働時報(日本労働研究機構 編)24(2), 50~54頁 (2000.2)
- [804] 「大卒女性の就業意識と就業行動--平成11年版 働く女性の実情(女性労働白書)」財形(財産形成リサーチセンター)29(5), 4~10頁 (2000.5)
- [805] 平良行雄. 「労働運動最前線 ただいま奮戦中 鹿児島県労連 女性の労働相談に大きな反響が」労働運動(新日本出版社)434, 154~157頁 (2000.12)
- [806] 「男女共同参画社会の形成の促進に関する施策の基本的方向「論点整理」に対するフォーラム・「女性と労働21」の意見(特集 21世紀・男女共同参画基本計画策定にむけて)」女性と労働21(フォーラム・女性と労働21) 〔編〕9(33), 7~21頁 (2000.7)
- [807] 「男女の地位、女性の社会参画等に関する意識(総理府)--男性優遇社会に変化なし」労働と経済(共文社)1239, 40~45頁 (2000.9.15)
- [808] 「調査/エッセイ」高学歴女性の就業意欲は高く、退職しても再就職に意欲」日労研資料(日本労働研究所 編)53(4), 15~17頁 (2000.4)
- [809] 「調査資料 総務庁「平成12年2月労働力特別調査」--雇用者前年比で男25万人減、女15万人増」労経ファイル(日本労政調査会 編)294, 36~41頁 (2000.7.1)
- [810] 「どうして女性だからって賃金低いのか?(特集 賃金の話あれこれ)」まなぶ(労働大学)506, 9~11頁 (2000.7)]
- [811] 「特集 女性労働運動の発展のために」交流センター(全国労働組合交流センター 編)11(9), 6~11頁 (2000.9)
- [812] 「特集 21世紀の企業と女性のあり方--真の男女同参画社会の実現へ向けて」石垣(日本商工会議所 編)20(8), 11~24頁 (2000.11)
- [813] 「特集 労働組合の女性参加の現状と未来」労働経済旬報(労働経済社 編)54(1653), 4~32頁 (2000.5.5)
- [814] 「(ニュース・フラッシュ)労働・女性--知的障害者の職場体験を実施(神奈川県)」厚生福祉(時事通信社)4806, 20頁 (2000.2.5)
- [815] 「ニューヨークで訴えた「住友の女性差別」(この判決を許せますか)」あごら(あごら新宿 編)263, 55~65頁 (2000.11)
- [816] 「働く女性の実態(労働省「平成11年版女性労働白書」より)事務従事者が初めて減少」労働と経済(共文社)1234, 16~20頁 (2000.7.15)
- [817] 「被告住友電工における女性差別の実態(原告最終準備書面から要約)(この判決を許せますか)」あごら(あごら新宿 編)263, 19~32頁 (2000.11)
- [818] 「目で見えるグラフ 仕事も家庭も 揺れる女心」ひろばエニワ(労働者学習センター 編)461, 4~9頁 (2000.7)

- [819] 「労働運動とフェミニズム(特集 女性労働とフェミニズム―二一世紀に向けてその最前線)」女性労働研究
(女性労働問題研究会 編)38, 6～41頁 (2000.7)
- [820] 「労働省 平成11年版働く女性の実情」労働経済旬報(労働経済社 編)54(1652), 22～28頁
(2000.4.20)